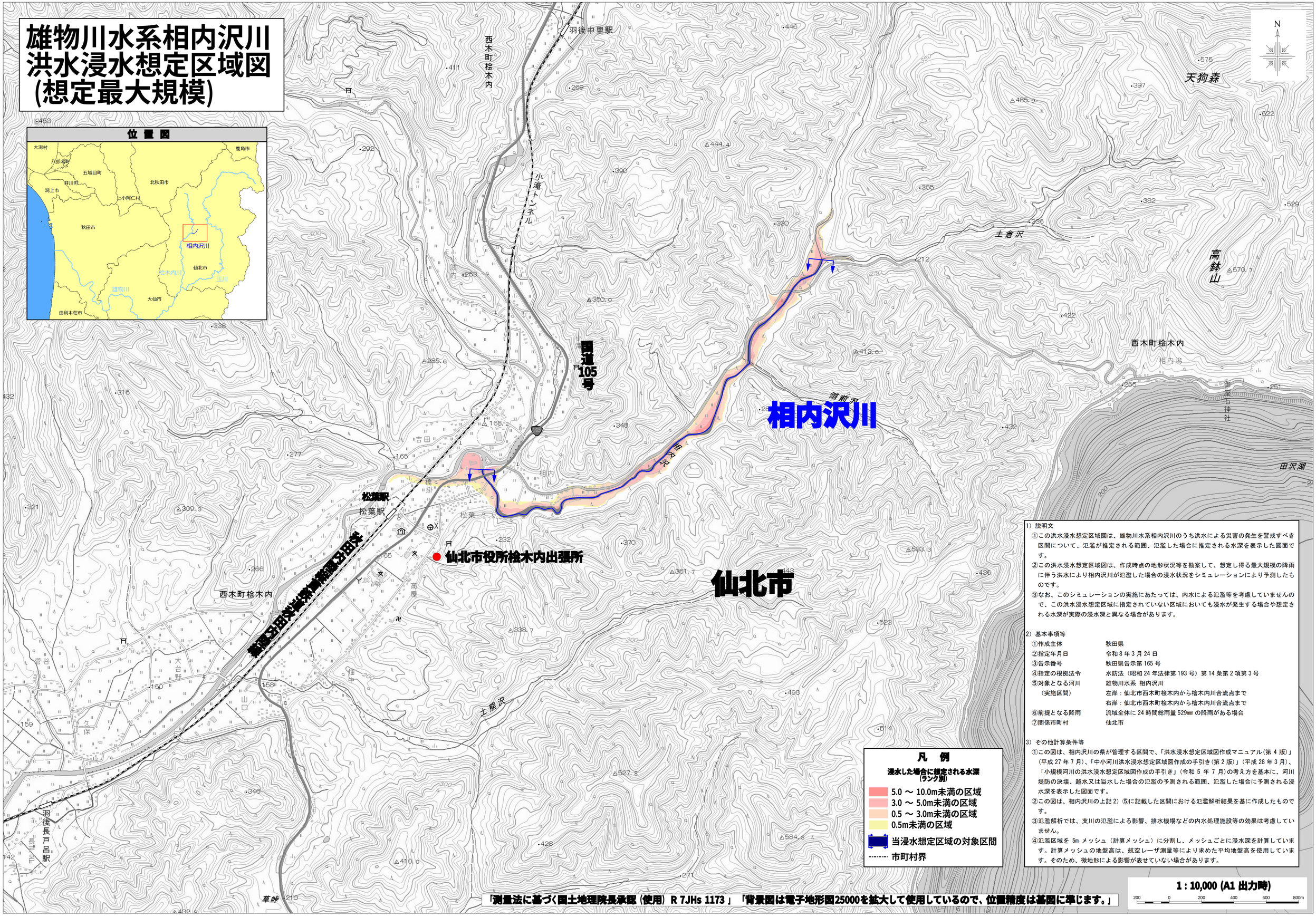
雄物川水系相内沢川 洪水浸水想定区域図 (想定最大規模)



1）説明文

①この洪水浸水想定区域図は、雄物川水系相内沢川のうち洪水による災害の発生を警戒すべき区間について、氾濫が推定される範囲、氾濫した場合に推定される水深を表示した図面です。

②この洪水浸水想定区域図は、作成時点の地形状況等を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により相内沢川が氾濫した場合の浸水状況をシミュレーションにより予測したものです。

③なお、このシミュレーションの実施にあたっては、内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2）基本事項等

①作成主体	秋田県
②指定年月日	令和 8 年 3 月 24 日
③告示番号	秋田県告示第 165 号
④指定の根拠法令	水防法（昭和 24 年法律第 193 号）第 14 条第 2 項第 3 号
⑤対象となる河川	雄物川水系 相内沢川
（実施区間）	左岸：仙北市西木町桧木内から檜木内川合流点まで
	右岸：仙北市西木町桧木内から檜木内川合流点まで
⑥前提となる降雨	流域全体に 24 時間総雨量 529mm の降雨がある場合
⑦関係市町村	仙北市

3）その他計算条件等

①この図は、相内沢川の県が管理する区間で、「洪水浸水想定区域図作成マニュアル（第 4 版）」（平成 27 年 7 月）、「中小河川洪水浸水想定区域図作成の手引き（第 2 版）」（平成 28 年 3 月）、「小規模河川の洪水浸水想定区域図作成の手引き」（令和 5 年 7 月）の考え方を基本に、河川堤防の決壊、越水又は溢水した場合の氾濫の予測される範囲、氾濫した場合に予測される浸水深を表示した図面です。

②この図は、相内沢川の上記 2）⑤に記載した区間における氾濫解析結果を基に作成したものです。

③氾濫解析では、支川の氾濫による影響、排水機場などの内水処理施設等の効果は考慮していません。

④氾濫区域を 5m メッシュ（計算メッシュ）に分割し、メッシュごとに浸水深を計算しています。計算メッシュの地盤高は、航空レーザ測量等により求めた平均地盤高を使用しています。そのため、微地形による影響が表せていない場合があります。

「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 1173」「背景図は電子地形図25000を拡大して使用しているので、位置精度は基図に準じます。」